

令和2年3月5日(木)

入試期間 その4

令和2年度入学者選抜前期試験特色選抜が本日実施されます。特色選抜は、5パーセント程度の募集定員ですが、校長裁量がありますので、その運用においては、学校全体の共通の認識に立って、合否を決めていきたいと考えています。

本日は、面接と、実技の試験です。その合計点の合算の仕方は、先にお示ししたとおりです。

本日の結果を受けて、明日からの学力検査の採点と合わせ、16日の合格発表まで慎重に審議してまいります。

全国的に、新型コロナウイルスの影響が大きくなってきています。様々なイベントや行事に大きな影響を及ぼしています。大きな集団ごとのクラスター感染をできるだけ食い止めることはとても大切なことだと考えます。大学によっては、卒業式や入学式の中止も決定されているところですので。本校にとっても、今後の国全体の動きを注視し、様々な手立てを考えていかなければなりません。これは、本校だけの問題ではなく、県全体、国全体の喫緊の課題であることはまがうことない重要事態であると考えます。

今後の見直しを含め、様々な連携と様々な対応を求められることは間違いありません。

本校においても、卒業式において、在校生の卒業式参加を取りやめ、吹奏楽の代わりに、校歌や君が代を音源を利用して、参加人数の制限を行いました。また、同窓会長の祝辞を取りやめ、PTA会長の祝辞を簡便にし、保護者代表の謝辞を取りやめることによって、時間を短縮したところです。併せて、マスクの着用を認め、アルコール等の殺菌液を使用することによって、感染経路を断つようにしました。

卒業式の配慮は、高校入学者選抜への配慮でもあり、在校生の発症を抑えるための配慮でもあると決断したところです。各部活動の中で、会場準備や会場撤去等に在校生をお願いする中で、卒業生や卒業学年の先生方への暖かい配慮を考えてみたところですが、この2週間ほどは、日本の動きを横目で見ながら、合格者発表や合格者オリエンテーションなどにも配慮を考えていかなければならないと考えます。

高野連が示した、選抜野球大会における配慮についても準拠し、どのような形が望ましいかについて、議論してまいりますので、どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。